

Q すくも 市議会だより

第46号

■ 編集 議会だより編集委員会 ■ 発行 宿毛市議会

定例会の概要

第二回定例会は、平成二十年六月十一日に開会し、十日間の会期で六月二十日に閉会しました。

市長から提出された議案は、「専決処分」四件、「人事案件」二件、「平成二十年度一般会計補正予算」など予算議案五件、「宿毛市ふるさと寄附金条例の制定について」など条例議案五件、「辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について」の計十七議案で、審議の結果、いずれも原案どおり承認・同意・可決されました。

議案の主な内容は、次のとおりです。

補正予算

◎一般会計（議案第七号）

今回の補正予算は、総額で一億三、六二一萬二千元が増額補正され、累計で九億三、八六六萬三千元となりました。

（歳出の主なもの）

- 行政チャンネル番組制作委託料……………九八二万円
- 地域特産品開発支援事業補助金……………八、〇〇〇万円
- 津波避難道整備工事費……………一四五万円

提出された議案等

議案番号	件名	議決結果
第1号	専決処分した事件の承認について	承認
第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第5号	平成二十年度宿毛市一般会計補正予算について	原案可決
第6号	平成二十年度宿毛市一般会計補正予算について	原案可決
第7号	平成二十年度各特別会計（へき地診療事業、定期船事業、老人保健、下水道事業）補正予算について	原案可決
第8号	宿毛市ふるさと寄附金条例の制定について	原案可決
第11号	宿毛市ふるさと寄附金基金条例の制定について	原案可決
第12号	宿毛市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
第13号	宿毛市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
第14号	宿毛市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第15号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
第16号	後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める意見書の提出について	原案可決
第17号	後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める意見書の提出について	原案可決
意見書案第1号	後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める意見書の提出について	原案可決

○森林整備推進事業費交付金

- ……………二、〇三三万円
- 森の腕たち育成事業費補助金……………二、一一八万円



条例

◎宿毛市ふるさと寄附金条例の制定について

◎宿毛市ふるさと寄附金基金条例の制定について

この二議案については、地域振興を図るため推進する事業に対し、市外県外在住の宿毛市出身者等に寄附を募り「ふるさと宿毛」の良さを再認識してもらえような事業を推進することを目的に条例を制

定するものです。
併せて、寄附された寄附金を適正に管理し、運用することを目的に基金条例を制定するものです。

◎宿毛市税条例の一部を改正する条例について

地方税法等の一部を改正する法律等が施行されたことに伴い「ふるさと寄附金控除」の制度が新たに創設され、五千元以上を出身地等の地方自治体に寄附した場合の市民税

が一定額控除されるものです。

◎宿毛市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法等の一部を改正する法律等が施行されたことに伴い基礎課税額の限度額を五十六万円から四十七万円に減額すること及び後期高齢者支援金等課税額の限度額を十二万円に定めようとするものです。

◎宿毛市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

これまで診療報酬の算定方法は厚生労働省告示により行っており、告示があるたびに条例改正が必要でしたが、この算定方法が平成二十年三月三十一日付けで廃止されたので、今後は「厚生労働省の定めた算定方法」に条例の一部を改正するものです。

六月定例会日程

6月11日(水)	本会議
12日(木)	休会
13日(金)	休会
14日(土)	休会
15日(日)	休会
16日(月)	本会議
17日(火)	本会議
18日(水)	本会議
19日(木)	休会
20日(金)	本会議

開会、議案上程
提案理由の説明
議案等精査
議案等精査
一般質問
一般質問
議案質疑
委員会審査
委員長報告、質疑
討論、表決、閉会



皆さんから提出された陳情は、所管の委員会に付託され、審査の結果、次のとおり決定しました。

陳情

番号	件名	議決結果
第8号	(今議会提出分) 国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書の提出について	継続審査
第9号	7月のG8サミットにおいて核兵器廃絶を議題とすることを求める意見書の提出について	不採択
第10号	障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書の提出について	継続審査

その他

◎辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
楠山地区はテレビ放送の難視聴地域として共聴施設を設置しているが、地上デジタル放送に対応する施設として改修事業を実施するに当たり、辺地対策事業債の申請を行うため計画を策定しようとするものです。

人事案件

平成二十年第二回定例会において、次の人事議案を全会一致をもって、同意しました。

○人権擁護委員候補者の推薦
嶋布滋子氏(新任)

宿毛市松田町
河野通孝氏(再任)
宿毛市小筑紫町小筑紫

一 般 質 問

六月定例会の一般質問は、十六日、十七日の二日間に七人の議員から市政全般について質問がありました。

主な内容は、次のとおりです。

西郷典生 議員

空母艦載機着陸訓練施設設置について

問 在日米軍基地の再編に伴い、来年七月までに岩国基地から半径百八十キロメートル圏内に空母艦載機着陸訓練施設の候補地を選定する旨の政府間協定が取り交わされています。

同基地は年間最長二十日間の離着陸訓練が行われるようだが、それ以外の期間は民間空港として自由に活用が許されている。これを活用すれば悲願であった空港建設の可能性もあり、産業の活性化、観光入り込み客の増加等、本市経済の浮揚にもつながると思われるが、誘致活動に取り組み考えはないか問う。

答 私自身としては、白紙の状況ですが、本施設の導入については騒音問題というものが

が非常に高いということ、確認すべき課題も数多くあると思われる。これら様々な課題を十分把握することがまず重要ではないか。



相手のある話であり、市民から要請があるということであれば、一定調査研究をしてみることも一考ではないかと考える。

イージス艦入港時の警備について

問 米イージス艦「オカーン」が入港した際、入路ゲートが遠いため、艦が見えなかったり、親交を深めた乗組員の見送りをすることもできなかったなど、警備が厳重すぎるとの不満の

声があった。今後同じような状況になった場合、警備体制を見直す考えはないか問う。

答 港湾管理者である高知県の要請により警備当局が行ったことで、厳重すぎるか、過ぎないかは見解の違うところと思われる。

今後、友好親善で米艦船が入港するようになった場合、双方の意思を取り入れ調整を市の方でもしていきたいと考えている。

松浦英夫 議員

イージス艦の寄港問題について

問 「事前協議がない以上、核は不搭載である」との外務省の見解をうのみにする中で、岸壁の使用を許可した。

答 これは、「非核平和都市宣言」や「平和市長会議」の主旨に反する決定であり到底容認することができない。核武装の疑いのある艦船の入港時には「非核証明書」の発行を求める考えはないか。

また、米軍機の離着陸訓練基地の誘致については反対であるとの意思表示をすべきでないか問う。

答 米海軍艦船の寄港時に、非核証明書の提出を、私の方から求めるつもりはない。

米軍機の離着陸訓練基地の誘致については、市民全体の強い要請があれば調査研究をしてみるのも一考ではないかと考える。

福祉行政について

問 在宅の知的障がい者の地域福祉推進を図るうえで、相談活動に大変貢献してきた「高知県相談支援整備事業」が、二十年度をもって廃止される。来年度以降どのような計画であるか。また、宿毛市においても「地域自立支援協議会」を早急に設置すべきではないか問う。

答 来年度以降、直営するか、指定相談事業所に委託するか現在検討中である。「地域自立支援協議会」については、宿毛市障害者計画の策定委員会等で、協議会設置のあり方等について検討する。

限界集落の問題について

問 六十五才以上の人が、その集落の人口の五十パーセント以上を越え、社会的共同生活の維持が困難な地区を限界集落という。本市の実態を把握しているか。限界集落等の調査を行ない抜本的な対策を講じる考えを問う。

答 宿毛市では、橋上地区の集落と沖の島地区が考えられる。共同体としての機能の継

続が将来的に危ぶまれる地域の生活基盤の整備について検討する。



野々下昌文 議員

行政情報の提供について

問 現在ある防災無線や放送施設では、スピーカーの位置や風向きによって情報が正確に伝わらないという声があるが、希望者が宿毛市のホームページにメールアドレスを登録し、火災・災害・気象情報

はもとよりダムの放流・断水・不審者の出没情報等、個人のニーズにあわせたメール配信の情報サービスを行ってはどうか問う。

答 登録いただいたアドレスに、随時、行政側から情報の提供ということは、新たな情報提供として検討すべきものではないかと考えている。

試験的な運用として、消防分団長以上への火災情報の提供を開始したいと考えている。

教育行政について

問 昨年十一月十五日文部省が公表した〇六年度問題行動調査結果の中の「いじめ問題」また「パソコンや携帯電話による誹謗中傷」いわゆるネットによるいじめ問題の実態が公表され、急激に広がる被害の実態が報告されているが、この問題に宿毛市としてどう取り組んでいくのか問う。

答 宿毛市だけで比較した場合、暴力行為は減少傾向にあります。いじめ、不登校は増加傾向となっており、教育委員会におきましても、学

校や保護者、関係機関とも連携を図りながら、改善策を摸索し解決に向けての努力を重ねているところでございます。

また、携帯電話やインターネットの犯罪を含めた防止策として、講演会等を開催し、正しい使い方を指導している。ただ、携帯電話やインターネットの規制は難しく、保護者の理解を得ることが前提となり、夜間の使用規制や正しいルールをつくるのが大切と考える。

今後、教育委員会、学校現場とも、地域、保護者とも話し合いながら講習会等も開催していく。



岡崎利久 議員

観光行政について

問 本市にはまだまだ素晴らしい場所があり、本市に住む住民の皆さんが知らない場所が数多くあると思う。そういう場所のピーアールの仕方並

びに観光客に対する情報の提供について問う。

答 今年、宿毛市の再発見をテーマに、市内外の皆様にピーアールをして頂きたいということ、四季折々の自然とか、魅力スポットを映像化するという方向で今取り組みを進めている。

教育行政について

問 平成二十年度からスタートする文部科学省の学校支援地域本部事業について、本市でも積極的に活用していくべきだと考えるが、具体的な取り組みを問う。

答 本市では大島小学校支援本部として、PTA、地区長、民生委員、教員、行政関係者の二十名で構成する実行委員会を設置し、登下校における子供たちの安全確保、環境整備の事業、地域を巻き込んだ学校行事を、地域の協力を得ながら実施をしていこうと考えている。

(仮称)宿毛フルマラソン大会について

問 (仮称)宿毛フルマラソン大会の進捗状況を問う。

答 開催日は、平成二十一年三月二十二日の日曜日で、大会の名称については、各マスコミを通じ募集し、現在六十三件の提案を頂いている。

コースについては、現在再検討している。ランナー募集については、十月初旬から始める予定。ぜひ市民全員に協力していただきたいと考えている。



市営住宅の耐震対策は

問 市営住宅の入居者も、いつくるかわからない巨大地震に対する恐怖で、毎日が不安の日々を送っている。宿毛市としてきちんとした市営住宅

の耐震診断をまずおこない、耐震改修計画あるいは建て替え計画を策定することが重要だと考えるが市長の基本的な見解を聞く。



答 市営住宅は三十一団地三百九十九戸となっている。耐震基準が改正された昭和五十六年以前に建築された三百七十五戸のうち、新耐震基準に適合していない二百一十一戸について高知県の簡易診断マニュアルによる耐震診断を準備している。また、五十六年以前の建物で簡易的に増改築した改良住宅百六十四戸についても五十六年以前に建てたものと同じ扱いをすべきだろう

と思っている。耐震化または建て替えについては住宅の耐震化率九十パーセントとする目標を掲げており、今後、県や国へ補助率の引き上げを要請するとともに、二十七年度までに計画的に実施し、目標に近づけるよう努力する。



浅木 敏 議員

米軍艦の宿毛湾再入港について

問 核兵器搭載可能な米軍艦を非核証明書の提出も求めず、なぜ再入港させたのか。

米軍空母艦載機の離着陸訓練施設、タッチ・アンド・ゴー誘致の動きがあるが、昼夜の離着陸訓練で大変な騒音公害となる。宿毛湾の軍事利用拡大をやめ平和な宿毛を守る方を問う。

答 外務省から核は搭載されていないとの回答を得たので入港を認めた。非核証明書を自分で求めるつもりはない。

宿毛港湾の整備目的に反する米国艦船の母港化はありえない。また、軍事に宿毛湾港を使わせるつもりもない。タッチ・アンド・ゴーは今、宿毛市として誘致に動いているということではなく、白紙の状態である。

農業振興と自給率向上について

問 いま、日本国内の食糧自給率は三十九パーセントにまで落ち込んでいる。自給率向上、農地の多面的機能発揮のためにも農産物の価格保障制度など振興策が重要である。宿毛市の取り組みを問う。

答 今後の農業経営については、国を挙げて食糧自給率の向上、また持続可能な農業経営、地産地消の重要性は十分理解しており、これらについては、国に対してものを言っていく。県とも連携し取り組んでいく。

タバコ被害の対策について

問 「現在タバコが原因で全世

意見書

今期定例会に議員より提出された次の意見書案を原案のとおり可決し、関係行政機関に提出しました。

◎後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める意見書

二〇〇六年六月に成立した医療制度改革関連法により、この四月から七十五歳以上の後期高齢者を対象として、後期高齢者医療制度が新たに実施された。

この制度は、年金により生活の糧を得ている多くの高齢者に新たな負担を生じさせ、また年金から保険料が強制徴収されることや、保険料を払えない場合には保険証を取り上げて資格証明書を発行し、医療機関の窓口で一旦医療費全額を負担させること、さらに二年ごとに保険料が見直しされることから、将来さらなる負担増が予想されるなど数々の問題を含んでいる。

本制度は、高齢者の暮らしと健康維持にとって重大な悪影響を及ぼすとともに過酷な負担が生じることは必至であり、高齢者の生活は一層厳しさを増すことが懸念される。

今日の我が国の繁栄の礎を築くため尽くしてこられた人々の老後の生活に不安を生じさせることにもなる。

よって、本議会は、高齢者に大幅な負担増をもたらし、生存権をも脅かすことになる後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める。



界で毎年五百万人の命が失われている」とWHO世界保健機構が報告している。高知県は庁内禁煙、県立の学校は敷地内すべて禁煙と聞く。宿毛市の対策を問う。

市は受動喫煙防止策として可能な公共施設から分煙及び禁煙にも取り組む。市内の小中学校は施設内で喫煙場所を決めているところが二校、残りは校舎内禁煙となっている。校舎内や敷地内も、協力を得ながら禁煙の方向に話し合いを進めたい。

なっている。中には体の不自由な人もいて、歩くのが精一杯の方もいる。こうした人たちのために、せめて住居前かその近くに設置し、収集できないものかお聞きしたい。

現在の各地区のごみステーションは、昨年四月に各地区長にお願いし集約化した。現在沖の島を除き、市内七百七十九カ所のステーションで九月より実施している。新たに設置することは考えていないが、困難な事情のある方については、民生委員に確認を取り、地区長や環境課と協議しながら再検討していただきたい。

休日の普通ごみの収集について

一年間を通して月曜日が休日と重なることが多く、休日明けでごみの量も多く困っている。特に夏季は異臭がひどく、家の中にも置けない状況である。せめて月曜日が収集日にあたる地域の収集を特別に変更できないか問う。

二十年度の月、木と火、

濱田陸紀 議員

高齢者のごみ収集について

現在、地区で収集場所を決めてごみを出している。近年、少子高齢化が進み独居老人は増え続けている。特に七十五歳以上で親戚、兄弟もいない人にとっては、週二回家庭ごみを出すことが次第に困難に

★お詫び

前回の議会日より、松浦議員の一般質問の答弁が一部抜けていましたのでお詫びします。

表彰

全国市議会議長会及び四国市議会議長会より、表彰状が授与されました。宿毛市議会からは、次の方が表彰されました。

全国市議会議長会

【特別表彰】

★議員三十年以上
岡崎 求 議員

★議員二十五年以上
山本 幸雄 議員

★議員二十年以上

岡村 佳忠 前議員
佐田 忠孝 前議員
田中 徳武 前議員

【一般表彰】

★正副議長四年以上
岡村 佳忠 前議員

四国市議会議長会

【特別表彰】

★議員二十八年以上
中川 貢 議員

★議員二十四年以上
山本 幸雄 議員



★議員二十年以上

岡村 佳忠 前議員
佐田 忠孝 前議員
田中 徳武 前議員

★議員十六年以上

西郷 典生 議員

★議員十二年以上

濱田 陸紀 議員

【一般表彰】

★議員八年以上

有田 都子 議員
浦尻 和伸 議員
寺田 公一 議員
宮本 有二 議員
菊地 徹 前議員
菱田 征夫 前議員

● 議会を傍聴しませんか…

議会の傍聴は、どなたでもできます。
次の定例会は9月上旬の予定です。詳しくは、
議会事務局までお問い合わせください。(☎63-2907)
また、委員会も傍聴できます。



★ 会議録の 閲覧を★

市議会だよりは紙面の都合で発言の一部しか掲載していません。
詳しくは「会議録」をご覧ください。
六月定例会の会議録は九月上旬にできる予定です。
市立坂本図書館及び各支所でご覧になれます。ご利用ください。
議会開会中は宿毛市のホームページとスマートフォンで映像中継しています。
なお、ホームページでは過去の議会映像も配信しています。



〈 編集委員 〉

〈 編集後記 〉

今年(平成)は平年より二週間も早い梅雨明けとなりました。六月定例会は、省エネのもと、クールビズにて開催され、宿毛市の振興策と住みよい街づくりについて多くの議論がなされました。
今年からの宿毛のキャッチフレーズ「宿毛にやなんでもあるで」の一環で、市内の名所・史跡を紹介するビデオの制作、また、市内の芋を使用した焼酎工場の整備も決定いたしました。今後とも、行政に対して緊張感を持ち、議員の責務を全うしていく所存です。
なお、本号より編集委員が替わります。委員一同紙面の充実に努めてまいります。暑さ厳しき折、皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

編集委員

- 今城 誠 司
- 松浦 英 夫
- 中平 富 宏
- 浦尻 和 伸
- 濱田 陸 紀